

			様式 1		
			R7年	4月	1日

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ほまれ家	事業所番号	2814800195
住 所	兵庫県養父市建屋463-1	管理者名	坪内みほ
電話番号	079-661-9044	対象年度	令和 6年度

地域連携活動の概要

<活動内容>		<活動の様子>	
		【活動の様子の写真】	
【活動場所】	兵庫県 養父市 建屋 能座地区		
【実施日程】	2024年4月～2025年3月 (通年)		
【実施した生産活動・施設外就労の概要】	鳥獣害柵のカズラ(つた)の除去作業		
【利用者数 等】	利用者 4名～20名 スタッフ 1名～4名		
<目的>			
<p>野生生物、主にイノシシ・鹿が農地に侵入し、水田・畑を荒らす被害が年々深刻化している。その被害を防止するため周囲を柵で囲う対策が取られている。その獣害防止柵にカズラ(つた植物)がツタを伸ばし、その重みで柵が傾き、野生生物の侵入を許す原因となっている。傾いてしまった柵を復旧することに多大な時間と労力を要する事が近年新たな問題となっている。田畑を管理する農家と共に、カズラの除去作業を行い、地域の田畑の荒廃を防ぐと共に地域住人との交流につなげていく。</p>			
<成果>			
<p>R5年から始めた活動の経験から、冬季に雪が降ると作業が困難となるため、春から秋にかけて、特に春先の植物の生育が進む時期に集中して作業を行うことにより、被害を最小限に抑止することができた。ツタを伸ばす植物にも種類があることがわかり、より強く太いツタを伸ばす箇所に関しては、できるだけ根の部分から除去することにより、毎年のメンテナンスの省力化を図ることができた。地域住人と連携し、獣害柵の維持管理を進めると同時に、交流の場として活動することができた。</p>			

連携先の企業等の意見または評価

【連携した結果に対する意見または評価】

R5年から開始した、獣害防止柵のメンテナンスの共同作業により、被害が減少している。一方、その他の棚田の維持管理作業でも協働することができた。

【今後の連携強化に向けた課題】

利用者の増加による機動力を生かすため、将来にわたって、連携した取り組みが可能な、その他の作業を検討する。

連携先企業名	養父市 建屋 能座地区	担当者名	村上英司
--------	-------------	------	------